

利根川・烏川の流れと緑に包まれた 芝根地区

13 梨ノ木山古墳

町史跡



この地方の支配者の墓とされているそうよ。

15 火雷神社



雷を祀る神社で、歴史は古く、学問の神様である菅原道真公の天満天神も祀られているよ。



16 養命寺



境内にはお堂が北向きで珍しい地蔵さまが3体祀られているよ。



麦畑にミステリーサークル?!



不思議だな！

毎年5～6月頃、芝根小学校北側の麦畑に丸い円模様が浮かび上がるよ。これは、クローブ・マークと呼ばれるもので、昔この場所に古墳があったことを示しているんだ。円の中は古墳の土、円の外は江戸時代に浅間山の大噴火で押し寄せた泥流で埋まった土。この土の違いで小麦の生育が異なり、このように見えるそうだ。小泉周辺はまだ発見されていない古墳が存在する可能性を秘めている?!

14 川井城跡



川井城跡に石垣の面影が残す



別名は霞城。風流な名前だね。



昔話

今から約1100年前のできごと、天災や不幸なことが続いていたので、国の役人は火雷神社にてお祓いをすることにしました。そのとき、この地を治めていた「那波八郎廣純」という武士も連れて行きました。祈りを続けて7日目、突然怪物が姿を現し、神鏡を奪おうとしましたが、廣純は刀を振ってその首を切り落としました。このとき、怪物の折れた角を川に投げ、後に淵になったところが、玉村町の「角淵」、切った手を捨てたところが玉村町の「上之手」(神の手)であるといわれています。

17 五料関所跡

町史跡



五料はし、関所の跡



江戸時代は、六甲街道に開き、午後六時に閉まったんだよ。



日光例幣使道に置かれた唯一の関所。江戸時代初め幕府によりつくられ、現在では、門柱の礎石と古井戸だけが残されているよ。



おもしろそうなお祭りがいっぱい!

玉村町の歳時記



2月11日(祝)

すみつけ祭(上福島公民館・上福島地区)

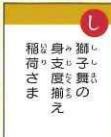
天狗の面を付けた先達を先頭に、上福島地区の家々を回って、輪切りにした大根に墨をつけ、顔になすりつける。起源は江戸時代元禄年間(1688~1704)といわれ、疫病が流行した当時、転んで鍋の墨が顔についた女性が病氣にならなかったことから始まったと伝えられている。



2月11日(祝)

稲荷神社獅子舞(上新田稲荷神社・上新田公民館・上新田地区)

江戸時代元禄年間から続く獅子舞で、氏子の安泰と五穀豊穡、悪魔払いを祈願する。この獅子舞は稲荷流の一人立三頭獅子舞(牡2匹、牝1匹)で、オウカ(稲荷・カンカチ(稚児)・笛・唄で構成されている。



2月24日・7月24日

※地蔵かつぎは23日※変動あり

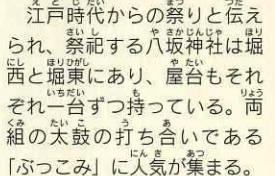
地蔵祭(養命寺・箱石地区)



箱石の養命寺境内の北向き地蔵堂には3体の地蔵があり、その中の一つを担いで、無病息災、火災除けを祈る。明治後期、疫病が流行したときに始まった。

7月前半の土・日曜日

角淵祇園祭(角淵八幡宮・角淵地区)



江戸時代からの祭りと伝えられ、祭祀する八坂神社は堀西と堀東にあり、屋台もそれぞれ一台ずつ持っている。両組の太鼓の打ち合いである「ぶっこみ」に人気が集まる。



7月第4土・日曜日

玉村の祇園祭(上新田地区・下新田地区)

下新田5・6・7丁目と上新田4丁目にて行われている八坂神社のお祭り。下新田の八坂神社は玉村八幡宮の境内に、上新田は稲荷神社境内にある。各丁目の屋台が県道142号線(旧日光例幣使道)を巡行する。



10月16日

横樽音頭(南玉住吉神社)

南玉地区に伝わる盆踊りまたは祝儀系の音頭。10月17日に行われる住吉神社の大祭前夜の宵祭りに氏子が社で夜を明かす「お籠り」という行事があり、その時飲み干した酒樽を横にして叩いたのが始まりとされる。



2月11日(祝) 春鋤祭(樋越神明宮)



農耕開始の祭礼として、あらかじめその年の豊作を祝うもので、江戸時代の書物にも記録されている。境内では榊や榎の枝に餅を付けたものを鋤に見立てて、農作業のしぐさをする。祭りの最後に切り餅やミカンが群衆にふりまかれ、この中に混じっている初穂を拾った人は、その年必ず豊作になるといわれている。

2/11 早春の三大祭り

1日に三つのお祭りを堪能できるオススメプラン!

1 すみつけ祭 午前9時 上福島公民館出発

2 稲荷神社獅子舞 午前10時 稲荷神社で「剣の舞」奉納 11時から「四方」の舞「奉納」その後地区内を練り歩く

7月24日 悪魔祓い(藤川)・悪魔払い(飯塚)



藤川の稲荷神社、飯塚の飯玉神社境内にある八坂神社のお祭り。「悪魔祓い、悪魔払い」と呼びながら、家々を回る。頭を獅子頭でかじるようにはさんでもらうと悪魔退散になるといわれている。



7月25日に近い日曜日

五料の水神祭(飯玉神社・五料地区)

利根川と烏川の合流する五料は、水運の村として栄えた。水神祭は、元々は船頭や漁師の守り神である水神様を祀るもので、約7mの麦わら舟を御前に見立てて地区内を回った後、利根川に流す。



旧暦10月末の午の日

麦時御神事(火雷神社)

上野国十二社の一つである火雷神社に貞観4年(862)から伝わる秘儀の神事。丑の刻に、暗闇の中で神官が祝詞をあげ、氏子が神社の周りにしめ縄を張る。このとき声を出すのは厳禁とされ、それから13日間、一般の人の参拝も禁じられる。(見学不可)

